



2013年 新しい年が始まりました

新しい年になりました。新年おめでとうございます。保護者の皆様には、ご家族揃って、お健やかな新年を迎えられたことと思います。昨年中は、本校教育活動並びにPTA活動にご協力ご支援を頂き誠にありがとうございました。



子どもたちの明るい元気な姿が、学校にもどってきました。3学期のスタートです。3学期は、1年間の中で最も短い学期ですが、総まとめの大切な時期です。始業式でも話しましたが、この季節、校庭の樹木は、厳しい寒さの中で眠っているように見えますが、よく見ると、小さな芽が顔を出し、やがて来る暖かい春に備えて少しずつ準備を進めています。子どもたちにとっても、今は、1年間のまとめをしっかりとやって、次の学年に向けての準備をする大切な時期です。学校では、子どもたちに“輝く春”が訪れるように見守り、励ましていきます。ご家庭でもご協力の程、よろしくお願いいたします。

年度当初の4月から比べますと子どもたちは、心も体もずいぶんと成長したなあと感じさせられることも多いのですが、この3学期で更に大きく健やかに成長するよう、全職員で努力して参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



予告なし避難訓練

1月11日 20分休みに避難訓練を行いました。今回は、子どもたちがそれぞれの場所でどのように身を守り避難するか、予告なしでの訓練をしました。事前学習として8日の始業式後、担当の早川先生から地震の際の安全確保の仕方を具体的に話していただきました。それは、次のような内容です。

- ・運動場にいる児童は、遊具から離れてしゃがみ、身を低くして待つこと
- ・教室にいる児童は、机の下で脚を持って待つこと
- ・廊下にいる児童は、窓や照明から離れ身を低くして待つこと
- ・トイレにいる児童は、ドアを開けて待つこと
- ・階段にいる児童は、手すりをしっかり持つか、踊り場で待つこと
- ・揺れがおさまったら、「お」「は」「し」「も」を守って避難すること

11日は、最初に緊急地震速報の音を流し、続けて地震の揺れの音を流して臨場感を出しての訓練でした。また、運動場に避難後、朝明川の堤防が切れた時を想定して校内2,3,4階への第3次避難も行いました。子どもたちはこれまでの練習の成果が生かされ、短時間に運動場に避難することができました。しかし、少し緊張感に欠けていた子もいました。「自分の命は自分で守る」という意識を高め、いざという時にどのように行動したらよいか、今後も指導や訓練をしていきたいと思ひます。

大なわ記録会 1月15日～1月25日まで

クラスで大なわに取り組みます。

体育の時間や休み時間などで、大なわをします

各クラスで、めあてを持ち、達成できるように友達と励まし合ってがんばっていきます。お家でも励ましの言葉かけをお願いします。



3学期早々いいお話を二つ聞きました・・・

○東日本大震災被災地研修 (1/9)

四日市大学教授 鬼頭 浩文さん

前半は児童会役員と代表委員の子どもたち、後半は教職員対象にお話をさせていただきました。一緒に活動した桑名北高校の伊藤先生、生徒の丹羽さん、大学生の服部さんも来ていただいて現地の様子や思いを語ってもらいました。鬼頭さんは、今までに15回 宮城県の東松島市に行かれて、ガレキ・泥撤去や仮設住宅での被災者の交流を支援するイベントを開催してきたそうです。支援としては物的な支援と心の支援の二つが必要なこと、復興が遅れているので、ぜひ旅行でいいので現地を訪れてほしいこと、などなど話がありました。また、防災についても、学校として、ふだんの備え、発災した時、避難所となった時など、いろいろな状況での貴重な提言をたくさんいただきました。これからは常に危機管理意識を保ちながら、対応策を検討・改善していきたいと思います。

○家庭教育講座 (1/11)

「早寝・早起き・朝ごはん」がもう一人の私を育む

小児科医 川瀬 昌宏 さん

P T A運営委員会に先立っての講演会でした。朝食がいかに大切かというお話から始まり、脳のしくみや記憶のでき方等の説明から規則正しい生活が子どもの健康や人間形成にとっても大事であると教えていただきました。大事にしてほしいことは、

- ① 睡眠・・・肉体の補給・整理として大事にしなければならない。
- ② 起きる・・・一日のスタートであり、脳内時計・内蔵時計のリセットとなる。
- ③ 家事手伝い・・・体のウォーミングアップそして、仕事から人間勉強・社会勉強となる。
- ④ 朝ごはん・・・噛む事によって脳が目覚めるとともに結腸を刺激・低血糖を改善する。
- ⑤ 排便・・・毎日することにより胃・結腸反射時間が短くなり、腸もガスが溜まらず健康。
- ⑥ 団欒・・・集中して話を聞く時である。一日の楽しい終わりにしてほしい。

先生のお話の中で『苦労して苦労知らずの子を育て』という言葉が印象に残りました。今からでも遅くありません。子どもにとって何が大切か、よく考えながら子育てをしていきたいものですね。

